事務事業評価（事前評価）実施結果（平成 20 年度新規要望事業）

1　事前評価の目的

翌年度（平成 20 年度）を初年度として新たに予算要求する事業について、「妥当性」「効率性」「有効性」「貢献度」を踏まえた多角的かつ総合的な視点で事前に検証し、その優先度の調整等を図ることを目的とした。

2　実施時期と実施内容

事前評価の実施時期と実施内容は図表 1 のとおり。なお、今年度は第 3 次越谷市総合振興計画後期基本計画・第二期実施計画（計画期間：平成 20～22 年度）の策定年度であることから、その採択対象とする事業費 300 万円以上の事業（以下「第二期実施計画対象事業」）と、それ以外の事業の別により、それぞれ実施した。

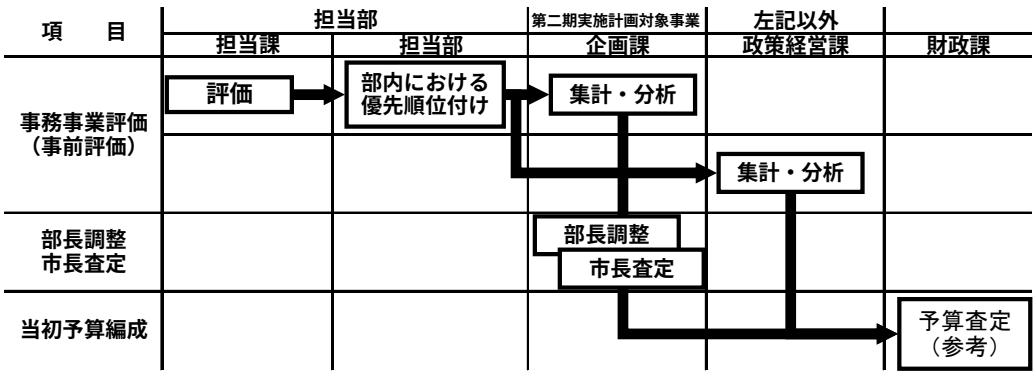
図表 1：【実施時期と実施内容】（平成 19 年度）

実施時期	実施内容	
	第二期実施計画対象事業（300 万円以上）	左記以外
8 月	策定調書（評価表）作成	
9 月	ヒアリング	
10～11 月	企画課長内示・部長調整・市長査定	評価表作成
12 月～	実施結果を財政課に送付	実施結果を財政課に送付

3　実施手順と評価方法

図表 2 のとおり、まず担当課において、対象とする事業ごとに「妥当性」「効率性」「有効性」「貢献度」といった視点(図表 3 参照)に基づき事前評価を行った後、各視点からの評価を踏まえて、担当部長が部内における優先順位付けを実施。その後、それらを取りまとめた上で（第二期実施計画対象事業については計画策定手続に係る部長調整及び市長査定を経て）、 その結果を評価表と併せて企画部財政課に送付し、平成 20 年度当初予算編成の参考資料として活用した。

図表 2：【実施手順】



図表 3：【評価の視点】

視　点	
妥当性	市が担うことの妥当性が高いか
効率性	最少の資源投入量で最大の効果が出るか
有効性	事業の成果が出るか
貢献度	上位にある施策の実現（又は目的達成）に貢献するか

4　評価事業数

平成 19 年度における事前評価実施事業数は、第二期実施計画対象事業が 43 事業、それ以外の事業が 38 事業、合計 81 事業であった(図表 4 参照)。

図表 4：【年度別評価事業数】

年度	評価事業数
平成 15 年度	69 事業
平成 16 年度	62 事業
平成 17 年度	64 事業
平成 18 年度	100 事業
平成 19 年度	81 事業（43 事業）

※　(　)内は第二期実施計画対象事業

5　評価結果の予算への反映状況等

事前評価の結果を踏まえた各部ごとの優先順位付け等を経て予算編成を行ったところ、図表 5 及び図表 6 のような結果になった。

第二期実施計画対象事業については、部内における優先順位が上位 3 位以内の事業の予算措置率は 69.2%、4 位以下の事業の予算措置率は 17.6%であり、部内における優先順位が高い事業から優先的に予算に反映したものとなっている。

一方、第二期実施計画対象外事業については、部内における優先順位が 3 位以内の事業の予算措置率は 73.1%、4 位以下の事業の予算措置率は、75.0%であった。

なお、第二期実施計画対象外事業に比べ、第二期実施計画対象事業の方が部内優先順位の高い事業（上位 1～3 位）の予算措置率が低くなっているが、これは、実施計画の対象となる事業規模が比較的大きな事業については、予算編成等において、「選択と集中」の観点からの事業の重点化をより一層図ったことによるものと考えられる。

今後とも、限られた予算の中で市民ニーズに適切に対応していくためには、これらの事前評価とともに事後評価や外部評価を引き続き積極的に活用し、既存事業の見直し等と併せた事業の優先順位の精査を推進していく必要がある。

図表 5：【事業の優先順位と予算編成結果（第二期実施計画対象事業）】

優先順位	対象事業数…⑴	予算措置事業数…⑵	予算措置率…⑵/⑴×100
1 位～3 位	26 事業	18 事業	69.2%
4 位以下	17 事業	3 事業	17.6%
計	43 事業	21 事業	

図表 6：【事業の優先順位と予算編成結果（第二期実施計画対象外事業）】

優先順位	対象事業数…⑴	予算措置事業数…⑵	予算措置率…⑵/⑴×100
1 位～3 位	26 事業	19 事業	73.1%
4 位以下	12 事業	9 事業	75.0%
計	38 事業	28 事業	